

村債（借金）の現在高

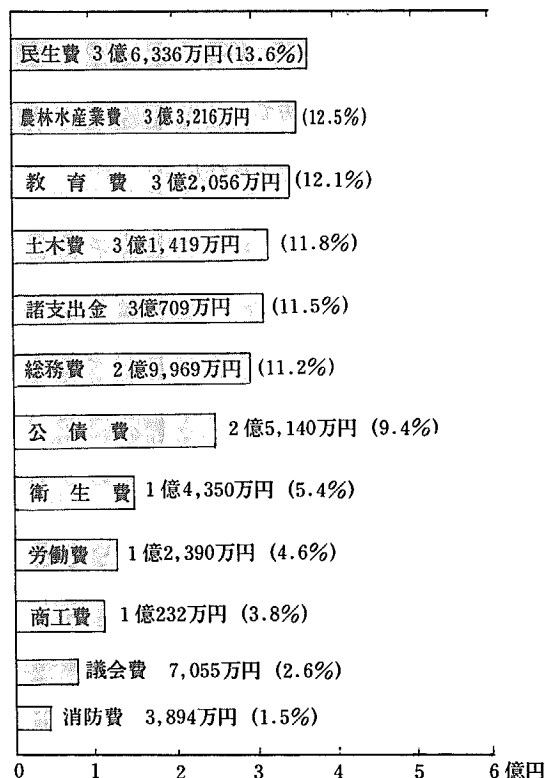
(2年度末)

| | |
|---------------|------------|
| 道路・橋りょう・公園 | 5億2,064万円 |
| 義務教育施設(小・中学校) | 4億5,574万円 |
| 農業施設 | 3億9,805万円 |
| 役場庁舎 | 2億5,709万円 |
| 保育所 | 1億691万円 |
| 老人福祉センター | 7,200万円 |
| その他 | 6,506万円 |
| 合計 | 18億7,549万円 |

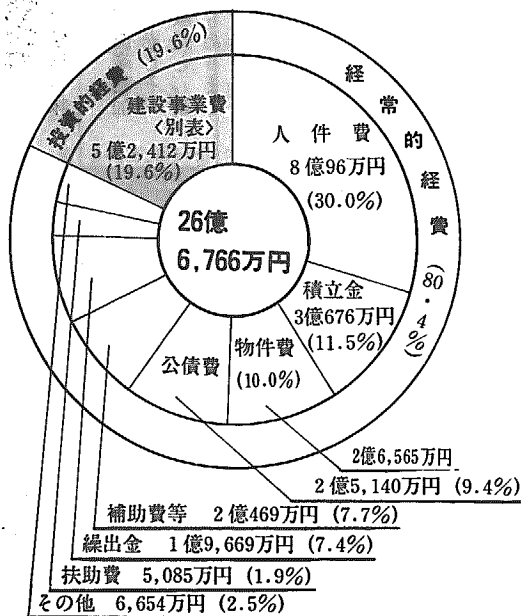
魅力ある豊かな
中学校北校舎改修、勤労者体育センター

お知らせします

<表2> 歳出26億6,766万円



<表3> 性質別経費



<別表> 投資的経費

- 農村総合整備事業、道路改良工事、公園スベリ台ほか 1億7,639万円
- 中学校北校舎改修、給湯器取付工事、クラブハウス設計料、グラウンド新設工事 (関連道路整備・水路等の工事費含む。) 1億331万円
- 小学校ガス給湯設備工事、校舎床張替、グラウンド植栽、フェンス取替工事 377万円
- 公民館関係村民プール浄化槽改良工事、公民館水洗トイレ工事、旧小杉小学校跡地整備工事 348万円
- 小型動力ポンプ、消防自動車車庫建設工事 971万円
- マイクロバス購入費 422万円
- 中央保育園用地購入費、フェンス移設工事 1,240万円
- 不燃物埋立地移設工事 257万円
- 勤労者体育センター建設費 1億2,332万円
- 砂崩農免道路負担金、二本木新田農免農道負担金、県道路事業負担金、地盤沈下対策事業負担金、湛水防除事業負担金、農地防災排水事業負担金 8,495万円

○ 村民一人当たり使ったお金 二七七・五九二円 (前年度対比六・〇%増)

○ 村民一人当たり借金残高 一九五・一六〇円 (前年度対比二・六%減)

路、道路整備などがあつた農林水産業費が二・五%と高い比率になっています。

一方、今後の財政負担や公債費負担に備えて、財政調整基金に九百六十八万円、減債基金に六千八十八万円を積み立てたほか、体育施設整備基金に一億八千六十七万円積み立てるなど財政の健全化にも留意しています。

次に、性質別経費(表3)をみると、職員給与や議員など各種行政委員の報酬である人件費や公債費などの経費が八〇・四%、道路整備や農村環境整備事業などの投資的経費一九・六%となっています。

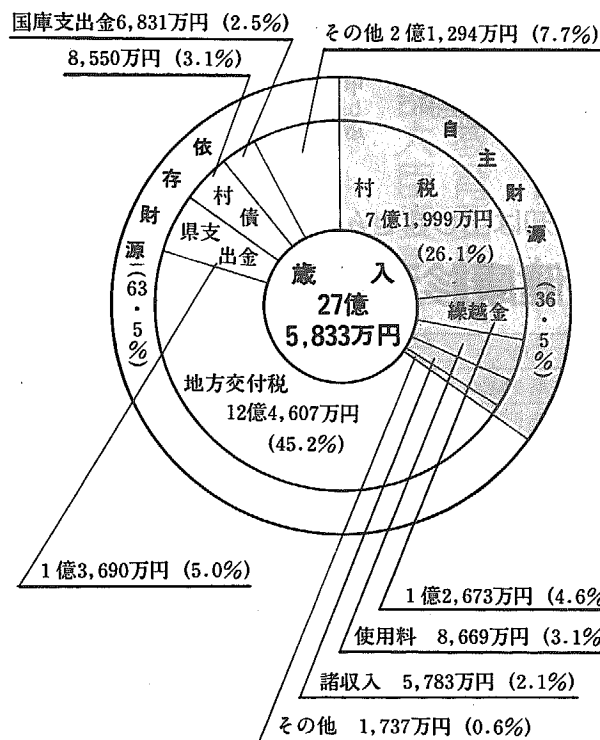
おもな内容は、(別表)を参照ください。

(この決算見込みについては、今後、村議会で審議されることとなります。)

村づくりのための
建設、農村総合整備事業などに投資

平成2年度一般会計
決算見込み

<表1> 歳入27億5,833万円



村のお金がどのように使われ、村財政はどのように運営されているかを、村民のみならずから知っていただくため、平成2年度の決算見込み(一般会計)をお知らせします。



今年3月完成した、横越勤労者体育センター

村税の内訳

| 税目 | 金額 | 村民1人当たり |
|--------|-----------|---------|
| 村民税 | 3億5,837万円 | 37,291円 |
| 固定資産税 | 3億1,275万円 | 32,544円 |
| たばこ消費税 | 3,444万円 | 3,584円 |
| 軽自動車税 | 1,004万円 | 1,045円 |
| その他 | 439万円 | 457円 |
| 合計 | 7億1,999万円 | 74,921円 |

(前年度対比6.5%増)

平成2年度一般会計決算見込
九千六十七万円黒字に

平成2年度一般会計は、当初予算二十二億七千五百万円スタートしました。

その後九回の補正を行い、決算額(見込み)は、歳入二十七億五千八百三十三万円に対して歳出二十六億六千七百六十六万円となり、差引き九千六十七万円の黒字となりました。

前年度に比べると歳入は、一億二千二百二十八万円歳出は、一億五千七百三十三万円それぞれ増え、その増加率は、歳入で四・六%、歳出で六・三%の伸びで、2年度一般会計が黒字になった要因には、地方交付税の伸びや村税などで増収となったことによるものです。

村の財政は、ますます増大する行政需要に対応するため、村債(借金)を少しずつ減らしながら財源を積立てるなどして限られた財源の有効活用を努めています。

教育環境の整備促進など
財政の健全化に努力

歳入(表1)をみてみますと、村税など自分の村で確保できるお金(自主財源)は三六・五%、これに対して地方交付税や借金(村債)などの依存財源は、前年度より二・五%減って六三・五%となっています。

このなかでも、借金財政から抜け出すため、村債を極力抑えたため前年度より約一億円減少しました。2年度末借金残高(一般会計)は、前年度より四百六十八万円ほど減少し、村民一人当たりも五千三百一十一円減少しました。

歳出の状況(表2)は、伸び率が四・六%と一番大きかったのは労働費で勤労者体育センターの建設によるものでした。

全体的な割合を見ると社会福祉事業の充実、健康づくりを進めている民生費が、一三・六%、環境整備整備などを行った農村総合整備モデル事業や排水